

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	算数「がい数の表し方」
学年	小学校第4学年
目標	四捨五入して概数にする前の、もとの数の範囲や、「以上」「未満」「以下」の意味を理解する。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Scratch3.0
環境	児童用ノート PC 40台を整備した PC 教室を使用
都道府県	神奈川県相模原市
実施校	相模原市立青葉小学校
学習活動の概要・児童の様子（プログラミングの活動を中心に記載ください。）	<p>1 めあてを確認しよう 「もとの数のはんいを考えられるようになるろう。」</p> <p>2 課題を確認しよう 「およそ 12cm のえんぴつは、何 cm から何 cm の間の長さでしょうか。」</p> <p>3 どんな数字でも、小数点以下を四捨五入してくれるプログラムをつくり、およそ 12cm のはんいをもとめよう</p> <p>① 計算の手順を確認する。</p> <p>② プログラミングを行う。</p> <p>③ およそ 12 cmを確認するために、プログラムにいろいろな数字を入れ、調べた結果を書きとめる。</p> <p>4 調べた結果を共有しよう</p> <p>① 12.5cm になっておよそ 13cm になること。それまでは、どんな小数点の桁を増やしてもおよそ 12cm になること、に気がきます。</p> <p>② 数字で表せない範囲を表す言葉として「以上」「以下」「未満」があることを知ります。</p> <p>5 まとめ</p> <p>学習を振り返り、今日気付いたことを確認する。</p> <p>□四捨五入の考え方から、もとの数のおよそはんいをもとめることができます。 このはんいは「〇〇以上、〇〇未満」という言葉であらわします。</p> <p>□わたしは生活の中で、() というときに、以上、未満という言葉を使っていることを聞いたことがあります。</p>
成果と課題	<p>「数字を四捨五入する」という意図に沿ってプログラミングをするには、どのような手順を踏むべきか、考えることができた。</p> <p>Scratch を活用する本時に至るまでに、事前の指導が必要となる。</p>

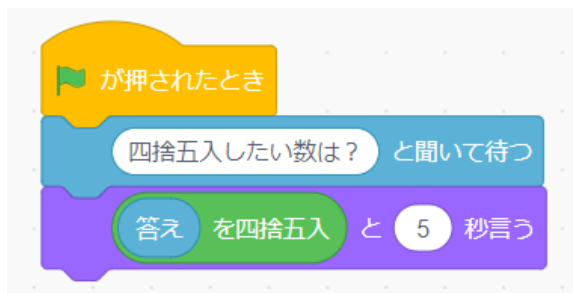


図 作成するプログラム例